

令和5年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和5年7月10日(月) 14:00～15:55
- 2 場 所 さぬき市役所3階会議室
- 3 出席者 【委員】 石田委員 柿木委員 樫原委員 金子委員 川地委員 黒澤委員
小松委員 高田委員 多田委員 筒井委員 六車委員
【事務局】 山下市民部長 山田課長 田村副主幹 山本主任主事
株式会社 ぎょうせい(委託業者)
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第 1 開会
2 会長あいさつ
3 議事
(1) 中学生ワークショップの実施について
(2) 男女共同参画に関する意見聴取結果について
(3) 第3次男女共同参画プラン施策体系案について
(4) 計画策定に向けた委員意見交換(グループミーティング)
(5) その他
4 閉会
- 6 配布資料
- 資料1 第3次さぬき市男女共同参画プラン策定に関する中学生ワークショップ実施要項(案)
- 資料2 さぬき市男女共同参画に関する意見聴取シート集計結果(報告書)
- 資料3-1 第3次さぬき市男女共同参画プラン 施策体系の考え方
- 資料3-2 第2次さぬき市男女共同参画プラン(現行プラン) 施策体系と取組内容
- 資料3-3 第3次さぬき市男女共同参画プラン(本プラン) 施策体系(案)と第2次プランの取組内容の整合
- 資料4 第3次さぬき市プラン策定に向けた委員意見交換(グループミーティング)実施方法
- 資料5 男女共同参画週間に関する実施報告書 ほか

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
事務局	<p style="text-align: center;">< 開 会 > (14:00)</p> <p>ただ今から令和5年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会 黒澤会長からあいさつ申し上げます。</p> <p style="text-align: center;"><会長あいさつ></p>

事務局	<p>会議の進行は、さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、黒澤会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>まず、会議の公開についてです。本会議は、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、「原則公開」となっています。非公開の案件がない限り、公開とすることとします。まず、傍聴申請について、人権推進課長から報告してください。</p>
事務局	<p>現在のところ、傍聴希望はありません。</p>
会長	<p>今のところ傍聴の希望はありませんが、会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。</p> <p>はじめに、本日の会議についてですが、おおむね2時間程度を予定しております。本日は議事内容が多いのですが、議事（4）の意見交換で皆さんの意見をお聞きする時間をなるべく多く取りたいと思っております。スムーズな進行に、ご協力をお願いいたします。</p> <p>本日、議事（2）（3）において説明を聞くため、第3次さぬき市男女共同参画プラン策定支援業務に関する委託事業者「株式会社ぎょうせい四国支社」の山内さんと家久さんに出席を求めています。では、議事（1）「中学生ワークショップの実施について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><資料1説明></p>
会長	<p>今の説明に対し、質問、ご意見はありませんか。</p>
委員	<p>スケジュールの中に「性の多様性についての話、グループで意見交換、発表」とあるが、どのような内容なのか。性自認や性的志向、ジェンダー、社会的・文化的な制度、どのようなジャンルの話をするのか。</p>
事務局	<p>詳細はこれからですが、「自分を大切にしよう」というメッセージを一番伝えたいと思っています。男女共同参画なので、性別の観点が主ですが、人、多様性を大事にしていこうという話に持っていきたいと考えています。中学生の正直な気持ちも話せる場になればよいと思います。</p>
委員	<p>アレルギー反応を起こす保護者がいるかもしれないと気になった。保護者がワークショップでどのようなことをするのか、またしてきたのかをイメージできるような言葉遣い、内容にすれば、保護者もすっきりするかと思った。</p>
会長	<p>性の多様性に関して、アレルギー反応とはどのようなものでしょうか。</p>
委員	<p>思春期なので、性的なことをイメージする保護者が多いと思う。娘が高校生なのだが、中学校3年生の子の親というとなり、40代、50代くらいで、ジェンダー教育を受けていない。多様性だと話が大きすぎるので、もう少し細かいとよい。</p>
委員	<p>ワークショップのテーマ「役割分担について」は、それだけでは意図がうまく伝わらない気がする。男女がお互いの特性を認め合いながら協力するということが「分担と協力、連携」という言い方が趣旨に合う感じがする。</p>

会長	今の意見を参考に内容を詰めていきたいと思います。では、議事（２）男女共同参画に関する意見聴取結果について、（３）第３次男女共同参画プラン施策体系案について、事務局から併せて説明をお願いします。
事務局	<資料２、３説明>
会長	この後、グループにわかれての意見交換の時間としたいと思いますが、その前にまず、今の事務局からの説明に対し、質問はありませんか。
	<質疑無し>
会長	次に、（４）計画策定に向けた委員意見交換（グループミーティング）について、まずは事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料４説明>
会長	今の説明に対し、質問はありませんか。
	<質疑無し>
会長	では、意見交換の時間としたいと思います。
	<委員意見交換（グループミーティング）>
会長	では各グループごとに発表をお願いします。
	<p><基本目標１グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント１つ目は「啓発」。日常生活の中に人権にかかわることがあるということに気づいてもらう。例えば若い方に対して、家庭における育児や家事等についての共同参画等、そういうところから啓発を進めていってはどうか。分かりやすく繰り返し啓発していく。また、啓発用の「かるた」を作る、小・中学校で実施されている赤ちゃん先生（赤ちゃんとの触れ合いで命の大切さを感じてもらう）を行う、家庭教育学級やPTAの活動の中に男女共同参画に関するテーマを入れてもらうなど、市と学校が連携して取組めるような啓発方法があるのではないか。 ・ポイント２つ目は「人づくり・場所づくり」。気軽に話ができるような人と場所がほしい。それぞれが活躍できる場を市が作ってほしい、理解者を一人でも多く育てるためには、人材の育成、つまり男女共同参画についてリーダー的な存在をもっと増やしていかないといけない、という意見が出た。また、市のイベント等の中に男女共同参画をそっと入れておく、気がつけば男女共同参画のニュアンスが入っているのがよいという意見も出された。 ・ポイント３つ目は「自分らしさ、心育て」。自分らしさを大切にすることは人権尊重の基本になると思う。人は一人では生きていけない。人を思いやる心が自分を大切に、周りの人も大切に、多様性を認め合うことにつながる、皆違ってよいという意見が出された。自分らしく生きていくことが全ての市民の基本だと思うので、それをめざしていけたらよい。 <p><基本目標２グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰もが活躍できる環境づくり」について、主に事業主、管理職に関する意見が出た。比較的高い年齢層に対しての啓発・教育はなかなか難しいのではないか。事

	<p>業所については、大手企業で啓発・教育が広がっているようだが、中小企業はまだこれからということで、事業主や管理職の教育に力を入れていきたいという意見が出た。一人ひとり、市だけでなく、全員で啓発・教育を進めていければと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仕事と生活の調和の推進」について、長時間労働、ワーク・ライフ・バランス、そして男性の育休取得についての意見が出た。男性の育休取得が進んでいる、働き方改革の導入で時短や週休3～4日の制度を導入している事業所があるという話も出てきた。事業所の成功例を共有することや、どこまでできるか分からないが、頑張っている事業所を表彰する、褒める、といったことをやればよいと思った。 <p><基本目標3グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あらゆる暴力の根絶」に関して、DVや暴力について小・中・高校や保護者向け、企業向けといった対象別の研修が必要ではないかという意見が出た。また、相談窓口やシェルターを知らない人がたくさんいるので「場所はもちろん言えないが、そういったものがある」ということを、声を大にして言ってもよいのではないかといい意見が出た。また、加害者、被害者は、本人が自覚していないこともある。被害・加害について意識を持てるようなアプローチが必要ではないかと感じた。 ・「安心できる福祉と健康のまちづくり」はたくさんあり、地域や子育て、学校といういろんな分野があったので分かりにくかった。後でまとめた。 ・身体的な暴力・DVだけではなく「暴言」というのが気になっている。暴言というのは分かりにくく、本人も意識していなかったりするもので、暴力の中に暴言も入れるとよいのではと思った。シングルファーザーが相談しやすい相談窓口作りも大切だと思う。被害者支援だけでなく、加害者に対しても支援していくとよいのではないか。 ・「防災の場における男女共同参画の推進」について、女性が活動に参加するだけでなく、高校生から高齢者まで、年齢の幅を大きくとった組織にするのがよいと思った。避難所の役割分担も、例えば炊き出しは女性などと決めるのではなく男性もする、荷物の運搬や誘導は男性でないと出来ないということはないし、声の大きな人や声の通る人は、もしものときに活躍できると思うので、役割分担を男女混合にして前向きに防災の活動をした方がよいと思った。コミュニティの充実については、コミュニティが今ばらばらになっていることや広報が個配になったために、自治会の中でのまとまりがなくなってきたといった意見があるので、そういうことも盛り込んでいったらよいのではないかという意見があった。
会長	残りの時間を使って、全体の意見交換をしたいと思います。
委員	補足である。基本目標3グループの中で、相談窓口の充実が一番問題となった。どういう暴力を受けたかなど、具体的に市民に分かる方法が見せられていない。相談窓口が一番必要だと思う。
会長	DV以外にもいろいろな相談窓口が必要だということですね。
委員	基本目標2グループの事業主や管理職への啓発・教育について、市が言っても受け入れる会社は少ないと思う。それなら、一緒に考えましょうという姿勢で窓口を開き「こういう考え方がある、男女共同参画について事業所に対してはこうだ」という「市は寄り添って、貴社と一緒にやっていきます」という感じにしたら事業所から「こんなことで困っている、こんなトラブルがあった、ハラスメント等に会社としてどうしたらよいか」といった相談が出てくる可能性があるのではないか。市からのトップダウンでは、広がらないのではないかと思っている。

会長	<p>一緒に考えていくような仕組、寄り添うような姿勢を、ということでした。基本目標1 グループの意見にあった、自分らしく、多様性を認め合う、知らないことを知る、思い合う心を育てる、というのは、誰が取組むことだと思いますか。市民レベルということなので、市民と市ということでもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>さぬき市全体で、男女共同参画に取組むようになればよい。事業所の成功例や研修等もあるが、議会で市が「男女共同参画の宣言の都市」を宣言し、市民全体で取組むくらいの迫力が必要ではないか。いろんな自治体で「〇〇宣言都市」を合言葉や標語にしているのを見る。また防災分野で思うのは、地震等はいつあるかわからないので、様々なシチュエーションを想定し考えていかないといけない。</p>
会長	<p>早朝や深夜に発災する場合がありますしね。資料3-1を見て、こういった言葉を使うとよいのではないかと、というご意見などもあれば、伺いたと思います。第2次から第3次で変わっている部分もあるので、全体を見て気づいた点もあれば伺いたと思います。</p>
委員	<p>主要施策12に「誰一人取り残さない福祉のまちづくり」とあるが、現実にはとても難しいのではないかと。ひきこもりの方が市内に何人いるのか、困っている人が何人いるのか。よそでは「誰もが」と書かれているので「誰もが幸せを感じる福祉のまちづくり」の方がよいのではないかと。誰一人というのはとても厳しい。</p>
委員	<p>私は、主要施策12の35~38番をひとまとめにして新規の「生活上の困難を抱える人への支援」にするという捉え方をした。「36 高齢者福祉の推進」「37 障害者福祉の推進」「38 ひとり親家庭への支援」については、確かに生活上の困難を抱える人に相当する場合もあるので、その3つを括って新規の表現でよいと思う。</p>
事務局	<p>35~37番について「地域福祉計画」の下に「子ども・子育て支援事業計画」「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」「障害者福祉計画」及び「障害福祉計画」「障害児福祉計画」という個別の計画があり、それぞれで既に細かな支援等が規定されています。改めて男女共同参画プランで個別事項を細かく記載していくのではなく、それぞれの計画に則って支援していくという形にまとめたかどうかという意味です。大ざっぱにまとめるのではなく、さぬき市としては個別の計画に準じた形で支援をしていく、という意図で記載しました。</p>
委員	<p>つまり、34~38番はそのまま残り、新規の施策が加わるということか。</p>
事務局	<p>そういう意味で、SDGsで掲げられている「誰一人取り残さない」という言葉を使っています。</p>
会長	<p>今回新規となっている方針は、「性の多様性の尊重」と「生活上の困難を抱える人への支援」の2つですね。そのほか、今日の会議やグループミーティングで気づいたことがあれば、事務局にご意見をお寄せください。次に、(5) その他について、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p><資料5説明></p> <p>また次回協議会は、9月22日(金)を予定しております。より具体的な策定過程に入ってまいりますので、ご多忙とは存じますが、是非ご参加くださいますようお願いいたします。</p>

会長	事務局から説明がありました。何か質問などはありませんか。
委員	パネル展に来た人は増えたのか、減ったのか。
事務局	去年に比べると減りました。今年は 166 人です。アンケートには 77 人が協力してくださっていますのでご覧ください。
委員	たくさんの人に来てもらえるよう検討してもらいたい。
会長	本日の協議会はこれで終了です。 最後に山下市民部長からあいさつをお願いします。
	<山下市民部長あいさつ>
会長	本日も活発な議論をありがとうございました。 以上で、令和 5 年度第 2 回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。お疲れ様でした。
	< 閉 会 > (15 : 55)